

# 絵本 ~心のキャッチボール~

8  
2012

the  
0123

アートチャイルドケア

絵本~心のキャッチボール 2012年8月

- ◎愛 情：読み手と絆を深める
- ◎情 操：絵本が好きになり、豊かな人間性を育む
- ◎知 育：「想像力」「集中力」が育ち、読み書きへの関心が高まる



ひと昔まえ、東の空から昇る太陽、西の空へ沈んでゆく夕日、心地よくふく風、そしておばあちゃんが語ってくれた「おはなし」、これら全てが「絵本」の世界でした。それはそれは豊かな「絵本」の世界でした。近年、子ども達の遊びの「三つの間」といわれる「時間」「空間」「仲間」のすべてが存在することは難しいと言われておりますが、子ども達に沢山の「おはなし」を届け、読んでもらったという心地よい記憶を胸の奥に残してあげられたらいいと思います。



## 年齢別の目標

乳児(0~2歳)

- 1期:絵と読み手の語り掛けに興味を覚え、絵本に関心を持ちます。
- 2期:絵本を楽しむ好奇心が芽生えます。
- 3期:絵と現実が体験を通して、少しずつ一致する。
- 4期:イメージが膨らみ、次のページに現れることを期待して見るようになる。

幼児(3~6歳)

- 前期:色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を認識する  
後期:色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を想像する



## 今月の推奨絵本

みず ちゃぼん

作 新井洋行 童心社

0歳から



みず・・・びしゃ!ぽと、ぽた、びしゃ!ちよろちよろ、どぼぼーっ!!  
子ども達が大好きな水の勢いや清涼感が味わえる新感覚の絵本です。しずくの表情にご注目下さい。

三びきのこぶた

訳 瀬田 卓二 絵 山田 三郎 福音館書店

3歳から



「三びきのこぶた」の原作です。一番目のブタと二番目のブタはオオカミに食べられてしまうという内容。少々残酷と感じられるかも知れませんが、ユーモアとサスペンスそして説得力のある1冊です。

## 各月齢の絵本選びと読み方のコツ



### ★4・5歳児の場合

#### 《絵本の選び方》

4~5歳というと、早い子は少しずつひらがなが読めるようになり絵本の字を読むようになります。

お友だちに手紙を書いたり自分の名前を書いたり、今までとは違った「ひらがな」に対する興味がわいてくるようです。長いお話も集中して聞けるようになりますので「少し難しいかな」と思う絵本にチャレンジしてみるのも良いかもしれません。

#### 《読み方のコツ》

上手に読もうと力まずに、ゆっくり、はっきり読んであげましょう。読み手自身も楽しむことが大切です。

お話を2冊以上読むときは、絵本への興味が持続するように内容に変化をもたせたり、短いお話を組み合わせたり、休憩を入れたりしましょう。「楽しかった」という思いで終わると次の読み聞かせにつながります。